

(別紙)

平成26年度 産業廃棄物税基金充当事業 実績報告書

事業名： 木質バイオマス再生利用技術の開発
事業実施予定期間： 平成24年度から平成26年度
担当課室名： 林業技術総合センター
担当班名 地域支援部 TEL: 022-345-2816
e-mail: stsc@pref.miyagi.jp
URL: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/stsc/>

1 事業の目的

東日本大震災により生じた木質系震災廃棄物（木くず）は、チップ化することにより、ボイラー燃料や木質系ボード等への利用が進められてきた。また、原木の生産・流通・加工時に生じる樹皮や残材・残滓などの利用法の開発が、震災以前から求められているところである。本事業では、被災海岸林マツを循環利用するため、下水汚泥堆肥等とチップ化した当該マツを混合・調製することにより海岸林再生のための植生基盤材等に加工する技術の提案を目指した。

2 当該年度の実施事業の概要・実績

昨年度に引き続き、復興公共工事や海岸林再生のために木質バイオマスを植生基盤材へ利用するため、マツチップを被覆（マルチング）するとともに、土壌改良材（下水汚泥堆肥等）の種類を変え、東松島市の海岸防災林内でのクロマツ等の植栽を行った実証試験地の生育状況を調査した。

併せて、木質チップと下水汚泥堆肥を活用した実用化モデルの整理を行った。

3 当該年度の実施事業の成果

2か年の現場実証試験の結果では、木質チップと混合した下水汚泥堆肥は、他の土壌改良材と比較してクロマツ苗の成長率に大きな差はなく、利用の可能性があることが示された。

4 今後の展開

共同研究機関と連携して、森林組合等へ木質チップのマルチング効果や下水汚泥堆肥の有用性についてPRしていく。

5 廃棄物の削減・リサイクル、適正処理の促進の効果等を示す指標の数値 (指標：スギ樹皮利用率の向上)

単位：%

平成23年度 (測定年 H19~21)	平成24年度	平成25年度	平成26年度
55	55	55	55

6 事業費の推移

単位：千円

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	1,473	2,013	873